



自治体のICTサービスの登録と情報リテラシーの関連

- 水野 一成 (株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 近藤 勢津子 (株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所)

- 背景
- ・災害時の情報収集手段の一つとして「自治体のサービス」の登録
 - ・災害時の偽・誤情報
 - ・情報リテラシー

目的

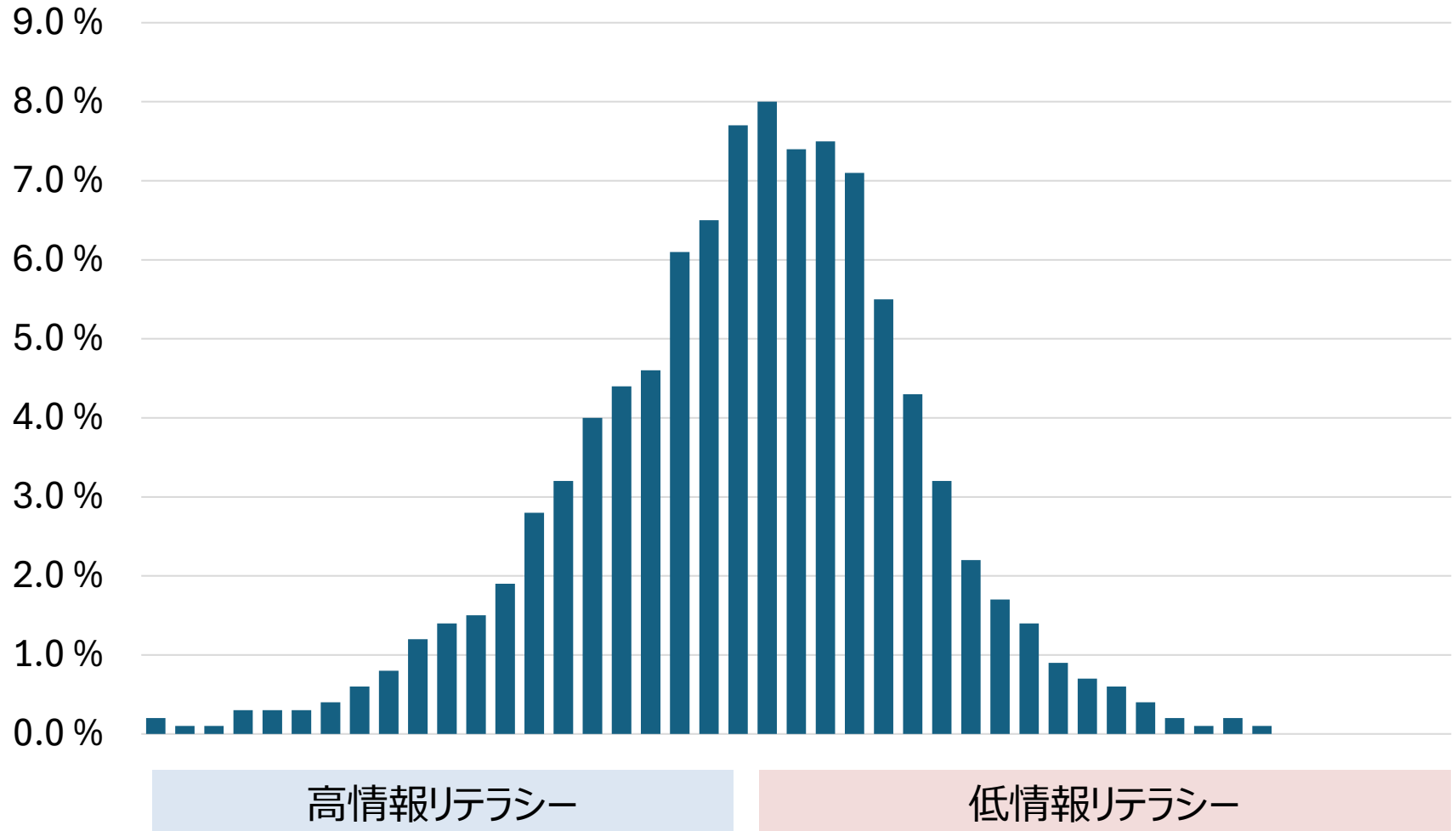
自治体のICTサービスの登録と情報リテラシーの関連をそれぞれの特性を用いて明らかにする

調査概要

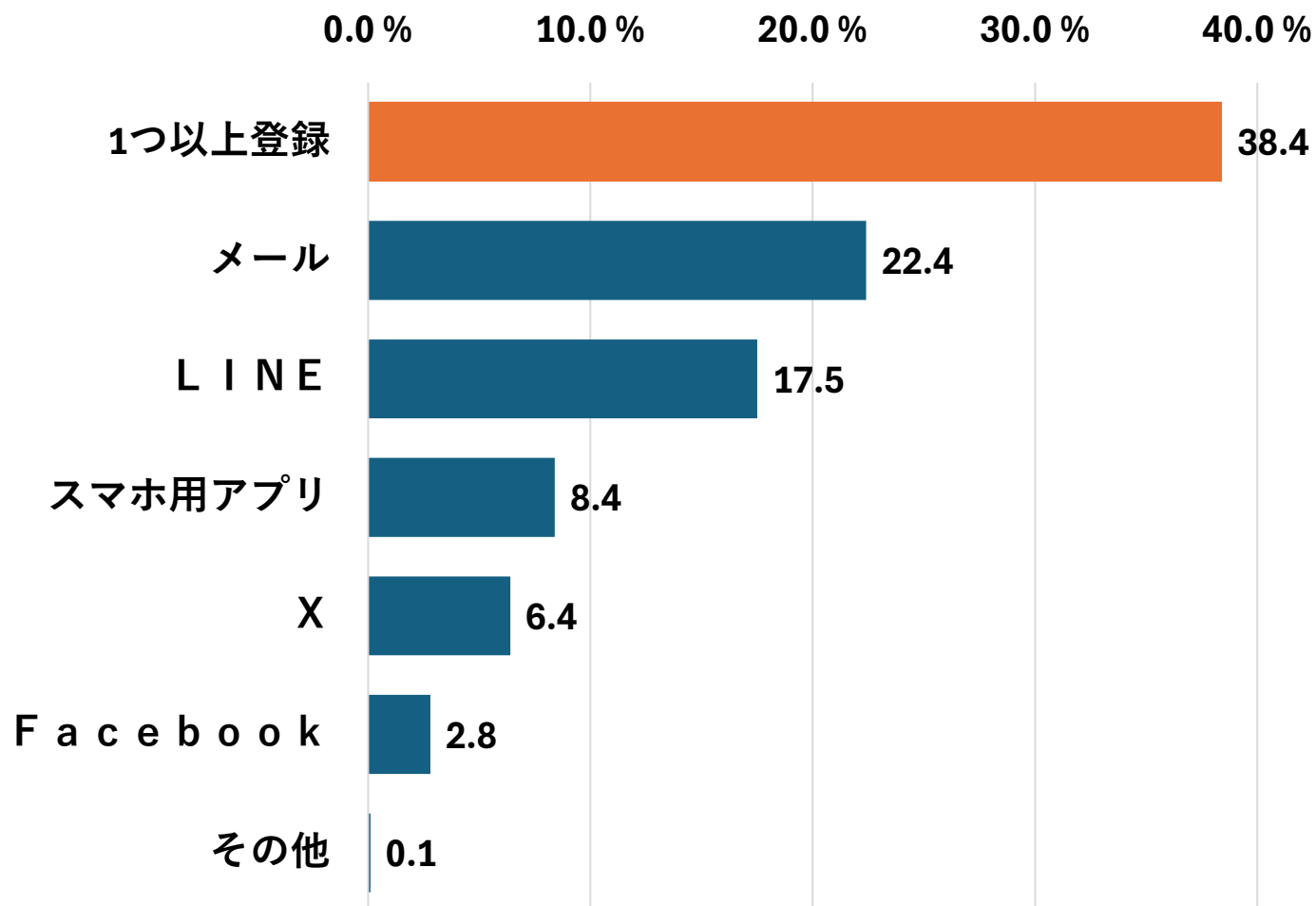
調査時期	2021.11
調査方法	Web
調査対象	全国・15-79歳
標本抽出方法	QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付
サンプル数	10, 357

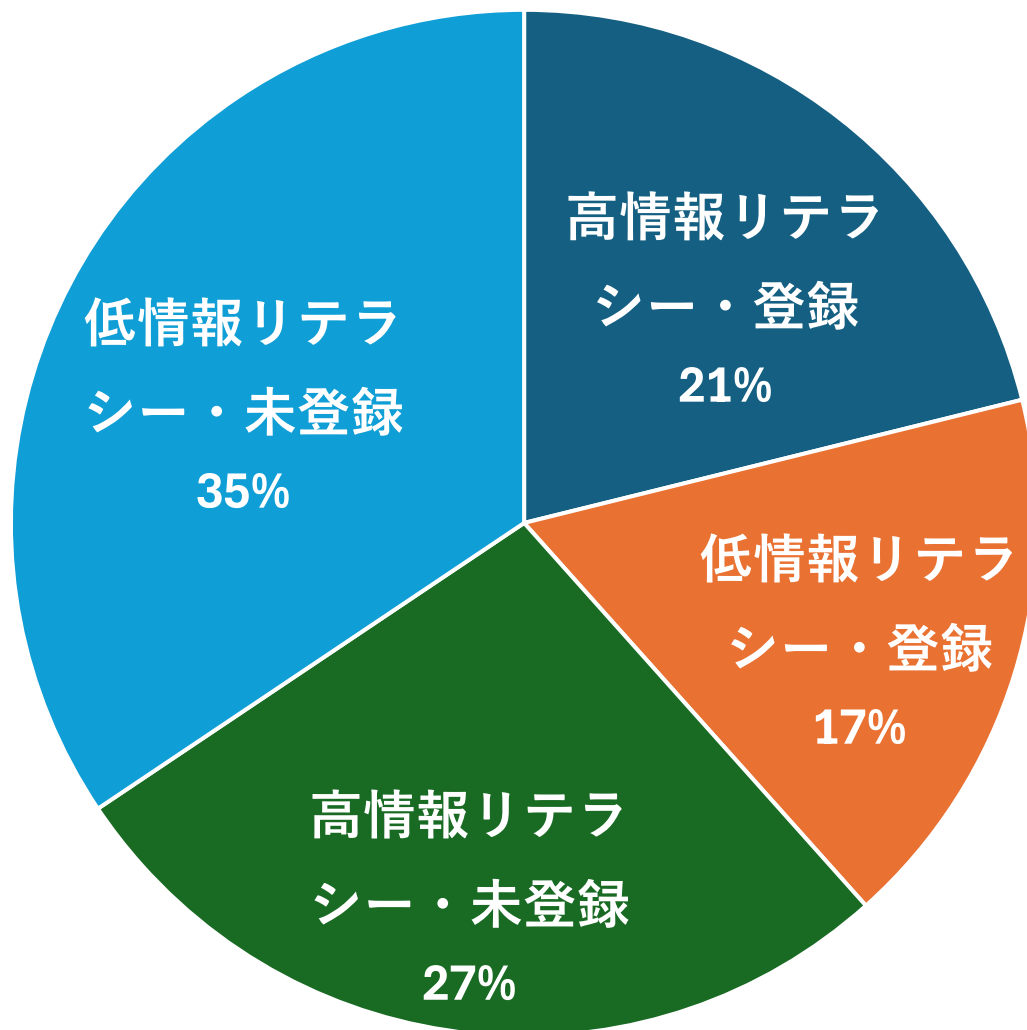
情報活用実践力	収集力	わからない事があれば、辞書・ネット等で調べる
		ニュースを、あまり見ないほうだ (※)
		何でも一通り知っていたいという気持ちが、人一倍強い。
	判断力	人の噂をすぐ信じるほうだ (※)
		手に入れた情報が古くないか、確認する。
		人から聞いた話が本当かどうかを、後で確かめる。
	表現力	調べたことを整理するとき、文章だけでなく図や表も活用するよう心がけている
		集めた資料を整理するのは苦手である (※)
		多くの情報を集めたときは、似た内容ごとに分類するようにしている
	処理力	意見がたくさんあっても、うまくまとめることができる
		筆者が一番言いたいことを把握するのは苦手である (※)
		問題を解く時は、思いつきで結論を出すことが多い。 (※)
	創造力	人の意見に流されやすい方である (※)
		自分なりの考えをもつようにしている
		物事を人とは違う観点から考えてみる方である。
発信・伝達力	自分の考えを人に説明するのが苦手だ。 (※)	
	人に伝える時、なるべく難しい言葉を使わないように気をつけている	
	人と話すとき、相手が何を知りたがっているか考える方である	

情報リテラシーに関連する項目の結果を得点化し、「高」「低」に分ける



38.4%が自治体を登録している





■ 防災・自治体

防災リテラ
シー

被災経験

自治体への関
心

■ メディア接触度

インターネット
利用時間

テレビ視聴頻
度

■ ライフスタイル

情報欲求志向

結社

即時遅延

■ 属性

年代

性別

分析精度

判別的中率	46.1%
-------	-------

1軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1:高リテラシー：登録	0.786	0.744	0.862
群2:高リテラシー：未登録	0.222	0.816	0.904
群3:低リテラシー：登録	-0.066	0.756	0.869
群4:低リテラシー：未登録	-0.625	0.614	0.784
全体	0.000	1.000	1.000

相関比	0.279
p値	0.000
判定	[**]

2軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1:高リテラシー：登録	0.096	1.053	1.026
群2:高リテラシー：未登録	-0.309	0.884	0.940
群3:低リテラシー：登録	0.443	1.027	1.013
群4:低リテラシー：未登録	-0.037	0.864	0.930
全体	0.000	1.000	1.000

相関比	0.062
p値	0.000
判定	[**]

4群（低リテラシー：未登録） 1群（高リテラシー：登録） 2群（高リテラシー：未登録） 3群（低リテラシー：登録）

レンジ・目的変数とアイテムの相関係数

1軸

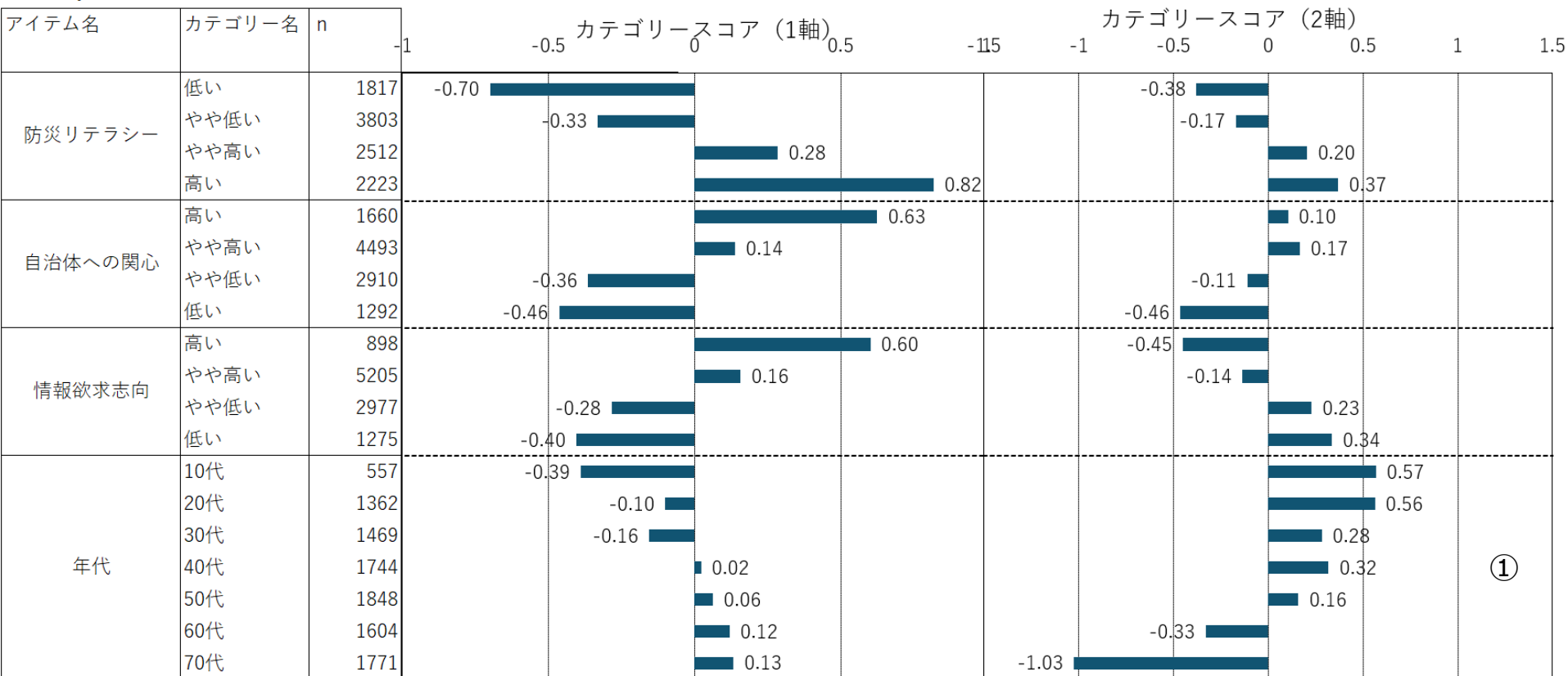
アイテム名	レンジ		偏相関係数	
防災リテラシー	1.518	1位	0.288	1位
自治体への関心	1.090	2位	0.194	2位
情報欲求	1.005	3位	0.171	3位
年代	0.523	4位	0.081	4位
結社	0.374	5位	0.080	5位
インターネット利用時間	0.350	6位	0.059	6位
即時遅延	0.155	8位	0.043	7位
被災経験	0.140	9位	0.042	8位
テレビ視聴時間	0.181	7位	0.041	9位
性別	0.080	10位	0.025	10位

2軸

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
防災リテラシー	0.748	6位	0.064	6位
自治体への関心	0.631	7位	0.047	8位
情報欲求	0.786	5位	0.058	7位
年代	1.594	1位	0.125	1位
結社	0.943	4位	0.091	4位
インターネット利用時間	0.436	9位	0.030	10位
即時遅延	1.004	3位	0.112	2位
被災経験	0.548	8位	0.068	5位
テレビ視聴時間	1.339	2位	0.098	3位
性別	0.307	10位	0.039	9位

4群（低リテラシー：未登録） 1群（高リテラシー：登録） 2群（高リテラシー：未登録） 3群（低リテラシー：登録）

モデル式



①

偏相関係数1.0以上、カテゴリースコアより解釈

2群: 高リテラシー: 未登録	1群: 高リテラシー: 登録
<p data-bbox="198 432 542 534">シニア層</p> <p data-bbox="568 432 911 534">遅延傾向</p> <p data-bbox="198 572 542 674">テレビ視聴 低頻度</p>	<p data-bbox="996 432 1340 534">高防災リテラ シー</p> <p data-bbox="1394 432 1738 534">自治体への関 心が高い</p> <p data-bbox="1008 572 1352 674">情報欲求志向 高い</p>
4群: 低リテラシー: 未登録	3群: 低リテラシー: 登録
<p data-bbox="204 953 548 1055">低防災リテラ シー</p> <p data-bbox="596 953 940 1055">自治体への関 心が低い</p> <p data-bbox="204 1093 548 1195">情報欲求志向 低い</p>	<p data-bbox="996 953 1340 1055">若年層</p> <p data-bbox="1383 953 1727 1055">即時傾向</p> <p data-bbox="996 1093 1340 1195">テレビ視聴 高頻度</p>

ご清聴いただき、ありがとうございました

- ◆自由で独立した立場から、モバイルICTがもたらす「光」と「影」の両面を広く解明するために2004年に設立
- ◆モバイル・コミュニケーションの現在および将来への社会・文化的影響を研究・分析して成果を発信

【主な研究テーマ】

経年変化を把握するため2010年から毎年実施しているモバイル動向調査(基礎調査)に加え、時流に合わせた個別調査を実施

光の伸張

モバイル動向(基礎調査)

<経年変化:2010年~>

ニューノーマル

子どものICT

スマホ利用者意識調査

SNS

健康とICT

シニアのICT

防災・減災のICT

情報発信

影の縮小

【研究成果の発信】

<モバイル社会白書2024>

データで読み解くモバイル利用トレンド2024-2025

データで読み解く
モバイル利用トレンド
2024-2025
モバイル社会白書

株式会社NTTコム モバイル社会研究院

連携

(書籍・電子書籍)

<モバイル社会研究所HP>

<https://www.moba-ken.jp>



(レポート発表)

<各種学会発表>

連携

メディア掲載・データ引用・意見交換会等